事例No.	3036
公表年度	R6
団体の属性	複数団体
団体名	北海道羽幌町、和歌山県串本町、沖縄県渡嘉敷村等

事例区分	行政改革

タグ	・歳入確保 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	環境

事例内容・タイトル

国立公園等管理等事業費国立・国定公園の海域適正管理強化事業費

出典

令和7年度過疎対策関係予算資料

国立公園等管理等事業費
国立・国定公園の海域適正管理強化事業費

環境省

【令和7年度予算(案) ８７百万円（８７百万円）】
※実施予定箇所（令和６年度）北海道羽幌町、和歌山県串本町、沖縄県渡嘉敷村等

優れた管理体制の確立や効果的な管理手法の導入により、海域公園地区等の指定や適正管理を推進します。

1. 事業目的

国立・国定公園の海域のうち、サンゴ等の優れた景観を有する地区を対象に指定する海域公園地区について、2030年度までに陸域と海域の30%以上を保全する国際・国内目標（30by30目標）に適合する海域とするため、保護と利用の両立を目的とした優れた管理体制の確立や効果的な管理手法を導入して対策を行う。

2. 事業内容

＜背景＞

国立・国定公園の海域のうち、サンゴ、干潟、藻場、岩礁帯等の優れた景観を有する海域公園地区は地域の重要な観光資源になっているが、オニヒトデの大発生によるサンゴの食害等により生態系の破壊が進んでいる。

【事業概要】

国立・国定公園の海域等において、地元住民等によって構成される民間事業者等を活用し、官・民一体となり、保護と利用の両立を目的とした優れた管理体制の確立や効果的な管理手法を導入した対策を実施する。

【期待される効果】

生態系の維持回復のための総合的な取組により生物多様性保全、海域公園等の適正管理や利用者へのサービスの向上が図られる。

3. 事業スキーム

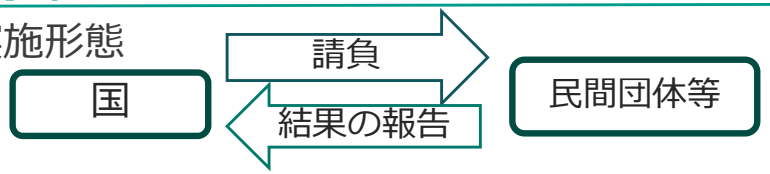
■事業形態　請負事業

■請負先　民間事業者・団体／公園管理団体／非営利団体

■実施期間　平成20年度～

4. 事業イメージ

○実施形態



具体的な活動例


ウミガメの産卵巣の保護方法の検討


サンゴ礁モニタリング（コドラート調査）


ウミガメ等海洋生態系保全（海岸清掃）


オニヒトデ駆除

お問合せ先：　環境省　自然環境局　国立公園課　電話　03-5521-8277